



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社ライドオンエクスプレスホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 6082 URL <https://www.rideonexpresshd.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江見 朗  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 渡邊 一正 (TEL) (03)5444-3611  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	17,556	△7.2	513	△32.0	508	△27.5	221	△50.6
2023年3月期第3四半期	18,910	△1.3	755	△51.2	701	△56.7	448	△56.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 248百万円(△44.9%) 2023年3月期第3四半期 450百万円(△56.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	22.75	—
2023年3月期第3四半期	45.61	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	13,995	7,111	50.8
2023年3月期	13,539	7,131	52.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 7,110百万円 2023年3月期 7,130百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,703	△6.5	911	△27.1	890	△19.0	554	1.5	56.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	10,894,935株	2023年3月期	10,872,086株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,140,506株	2023年3月期	1,140,506株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	9,744,273株	2023年3月期3Q	9,842,152株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルスの5類感染症への移行に伴い、社会経済活動が正常化に向かう中で、景気は徐々に回復をしております。先行きについては、物価の上昇や世界的な金融引き締めによる海外経済の下振れ等が経済活動に与える影響が懸念されますが、雇用・所得環境の改善が進むことで回復傾向が続くと想定されます。

当社グループの属する宅配食市場におきましては、高齢化社会の進展、単身世帯の増加、夫婦共働き世帯の増加を背景に、フードデリバリーやテイクアウト等の中食需要が増加することで堅調に推移しております。中長期的には、社会経済活動の正常化と共にライフスタイルの変化が進展することに伴い、フードデリバリー需要は今後も堅調に推移すると考えております。

このような状況の下、当社グループは「ご家庭での生活を『もっと美味しく、もっと便利に』」を実現するために、「誰もがご自宅にいながらにして享受できる、より便利で快適な新しいライフスタイルの創出」に貢献していく「次世代ホームネット戦略」を基本戦略として、事業活動に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症による特需の反動は緩和されつつありますが、引き続きその影響を受けたことで主要ブランドである宅配寿司「銀のさら」「すし上等!」、宅配御膳「釜寅」の売上は減少傾向で推移いたしました。また、繁忙期におけるテレビCMの放映や積極的なデリポイント施策の実施等により、マーケティングコストは増加しておりますが、2023年3月の価格改定により、店舗の収益構造が改善したこと等の影響で、販売費及び一般管理費は前年同四半期と比べて減少いたしました。これらの活動により、営業利益は前年同四半期と比べ減少いたしました。

営業外損益においては、加盟店舗の買い取りによる店舗買取損、直営店舗の売却による固定資産売却益、投資有価証券の売却益および評価損を計上しております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高17,556百万円(前年同四半期比7.2%減)、営業利益513百万円(前年同四半期比32.0%減)、経常利益508百万円(前年同四半期比27.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益221百万円(前年同四半期比50.6%減)となりました。

主な活動状況は以下のとおりです。

#### ① 店舗・拠点

FCを含むチェーン全体の店舗数においては、宅配寿司「銀のさら」3店舗(直営店1店舗、FC店2店舗)、宅配御膳「釜寅」5店舗(直営店2店舗、FC店3店舗)、宅配寿司「すし上等!」2店舗(FC店)、宅配寿司「銀のさら 和(なごみ)」10店舗(直営店)を出店し、宅配寿司「銀のさら」7店舗(直営店6店舗、FC店1店舗)、宅配御膳「釜寅」4店舗(直営店)、宅配寿司「すし上等!」14店舗(直営店)、提携レストランの宅配代行サービス「ファインダイン」5店舗(直営店)、和食レストラン「銀のさら」1店舗(直営店)を閉店いたしました。また、直営とFCの区分が変更されたことにより、直営店は宅配寿司「銀のさら」1店舗、宅配御膳「釜寅」4店舗、宅配寿司「すし上等!」2店舗の減少となっております。

これにより当第3四半期連結会計期間末における店舗数は766店舗(直営店263店舗、FC店503店舗)、拠点数は382拠点(直営店108拠点、FC店274拠点)となりました(※)。

※当社グループのチェーンでは、商品を宅配するための事業所を全国に配置しており、これを「拠点」と呼んでおります。また、消費者に提供するメニューの種類ごとに設置される設備(宅配寿司「銀のさら」や宅配御膳「釜寅」等)、及び「ファインダイン」における消費者が選ぶことのできる提携レストランのラインナップ(メニュー)毎の配送機能を「店舗」と呼び、一つの「拠点」に複数の「店舗」を設置することがあります。

#### ② 各ブランドの状況

商品戦略としましては、期間限定商品として、宅配寿司「銀のさら」では、人気の高い「キングサーモン」、「ズワイガニ」を使用した商品を提供いたしました。7月には、対象地域で獲れた厳選ネタを使用した「北海道フェア」「九州フェア」を実施いたしました。また、公式サイト限定で販売するスペシャル商品として、「いま!これ!勝負ネタ」シリーズを数量限定・期間限定で提供しております。5月には最先端の養殖システムを使用した環境負荷の少ない「渥美プレミアムサーモン」を提供、6月にはマグロー一匹から2%しか取れない希少部

位である「カマトロ」を使用した「極上トロキャンペーン」を実施いたしました。

宅配御膳「釜寅」においては、11月よりうなぎ（ひつまぶし）を軸としたメニュー訴求へのコンセプト変更の検証を、直営店の一部店舗にて開始しております。

宅配寿司「すし上等！」においては、12月より新規顧客の獲得を目的に、商品内容と価格帯を刷新した宅配寿司「銀のさら 和（なごみ）」へのリブランド検証を直営店の一部店舗にて開始いたしました。

販売戦略としましては、利用機会の創出と新規顧客の獲得を目的として、繁忙期であるゴールデンウィークにテレビCMを放映しております。また、8月には若年層に人気のYouTuber「東海オンエア」とのコラボレーション動画を、10月には「東海オンエア祭」を実施しております。自社電子ポイント「デリポイント」においては、さらなる利用機会を創出するため、繁忙期や機会点において戦略的にポイントを発行しております。4月には「新生活応援キャンペーン」、5月には「母の日」デリポイント39%還元キャンペーン、6月には「父の日」デリポイント30%還元キャンペーン、8月にはお盆期間を対象に「10%還元キャンペーン」を実施するなど、WEB会員、顧客に向けた販売促進及び認知度向上のための施策を実施いたしました。

また、「銀のさら」においては、年末年始を含む12・1月が、年間において一番お客様のご利用数が多く、収益を獲得できる時期であるため、高級食材を使用した期間限定桶の提供及び早期WEB予約の受付、早期ご予約のお客様を対象にしたデリポイント1,000ptプレゼントキャンペーンの実施、年末年始期間のテレビCM放映など、お客様満足度・利便性及び収益性の向上、新規顧客の獲得に取り組んでまいりました。

既存顧客に向けては、顧客属性にあわせた計画的なDMの実施、メールマガジンの配信、LINE公式アカウントからの情報発信、公式アプリからのプッシュ通知等、CRM（※）の確立に向けた活動を行っております。また、電子決済サービスの導入を拡充するなど、顧客の利便性向上に努めております。

※Customer Relationship Managementの略。顧客接点での情報を統合管理し、顧客との長期的な関係性を構築、製品・サービスの継続的な利用を促すことで収益の拡大を図るマーケティング手法。

宅配寿司「銀のさら」においては、テイクアウト併設型店舗の出店を推進しております。従来のデリバリーでの注文に加え、テイクアウトでの需要に応えることで、利便性の向上と新たな顧客層の開拓を進めてまいります。

提携レストランの宅配代行サービス「ファインダイン」においては、店舗の統合等により、配達エリアを再編し経営資源を集中することで効率化を図っております。販売促進においては、毎月お得なクーポンや情報を配信するなど、新規顧客の獲得とリピート利用の促進を目的とした各種施策を実施しております。

「専門店の美味しさをご自宅でも！」をコンセプトに、専門店のこだわりの味をお届けする宅配サービス「DEKITATE」においては、牛タン、とんかつ、炭火焼肉、鰻等といった商品を提供し、検証を進めてまいります。

## （2）財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### （資産）

資産は、前連結会計年度末に比べて456百万円増加し、13,995百万円（前連結会計年度末残高13,539百万円）となりました。これは主として、売掛金が1,081百万円増加、投資損失引当金が150百万円減少した一方で、現金及び預金が743百万円、投資有価証券が240百万円減少したことによるものであります。

#### （負債）

負債は、前連結会計年度末に比べて476百万円増加し、6,883百万円（前連結会計年度末残高6,407百万円）となりました。これは主として、買掛金が989百万円、ポイント引当金が50百万円増加した一方で、長期借入金が448百万円、未払法人税が124百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて19百万円減少し、7,111百万円（前連結会計年度末残高7,131百万円）となりました。これは主として、配当金291百万円の実施により減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益221百万円の計上、その他有価証券評価差額金が26百万円、新株式の発行により23百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年9月27日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,142,744	6,399,307
売掛金	1,050,117	2,131,751
商品	142,170	137,817
原材料及び貯蔵品	588,910	555,989
その他	696,746	1,042,281
貸倒引当金	△20,209	△26,812
流動資産合計	9,600,479	10,240,334
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	703,990	679,518
その他(純額)	313,329	282,042
有形固定資産合計	1,017,319	961,560
無形固定資産		
投資その他の資産	379,178	355,185
投資有価証券	1,668,168	1,428,162
投資損失引当金	△150,000	-
繰延税金資産	321,546	309,810
差入保証金	670,011	663,934
その他	74,184	82,588
貸倒引当金	△41,437	△45,901
投資その他の資産合計	2,542,473	2,438,593
固定資産合計	3,938,971	3,755,339
資産合計	13,539,451	13,995,673
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,282,584	2,272,142
1年内返済予定の長期借入金	616,668	613,728
未払金	884,598	912,022
未払法人税等	224,071	99,910
契約負債	47,238	40,099
ポイント引当金	230,811	281,695
株主優待引当金	71,592	28,719
その他	237,014	270,030
流動負債合計	3,594,580	4,518,348
固定負債		
長期借入金	2,263,395	1,814,799
資産除去債務	186,170	183,265
その他	363,705	367,518
固定負債合計	2,813,271	2,365,582
負債合計	6,407,851	6,883,931
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,067,207	1,079,100
資本剰余金	970,828	982,721
利益剰余金	6,677,528	6,607,283
自己株式	△1,700,321	△1,700,321
株主資本合計	7,015,243	6,968,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	114,893	141,479
その他の包括利益累計額合計	114,893	141,479
非支配株主持分	1,463	1,477
純資産合計	7,131,599	7,111,742
負債純資産合計	13,539,451	13,995,673

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	18,910,235	17,556,155
売上原価	10,056,596	9,089,828
売上総利益	8,853,639	8,466,327
販売費及び一般管理費	8,097,950	7,952,609
営業利益	755,688	513,717
営業外収益		
受取利息	1,766	1,194
為替差益	5,967	1
固定資産売却益	2,609	25,235
業務受託料	4,254	4,254
投資有価証券売却益	5,840	176,914
その他	6,500	7,767
営業外収益合計	26,938	215,367
営業外費用		
支払利息	2,589	7,593
固定資産除売却損	1,488	15,476
加盟店舗買取損	57,454	18,190
投資事業組合運用損	4,851	1,345
投資有価証券評価損	10,103	175,390
その他	4,321	2,449
営業外費用合計	80,808	220,443
経常利益	701,818	508,641
特別利益		
受取保険金	5,829	1,607
特別利益合計	5,829	1,607
特別損失		
リース解約損	8,850	7,263
その他	-	359
特別損失合計	8,850	7,622
税金等調整前四半期純利益	698,798	502,626
法人税等	249,894	280,913
四半期純利益	448,904	221,712
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	10
親会社株主に帰属する四半期純利益	448,905	221,702



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	448,904	221,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,447	26,591
その他の包括利益合計	1,447	26,591
四半期包括利益	450,351	248,303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	450,362	248,289
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、宅配事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。